

# 明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第50号 平成19年12月発行

## ○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



## 大洞地域 秋の硯石池の活動（12月1日）

- ・湿地を再生するぞ！
- ・保全活動の地域への広がり

## ○湿地を再生するぞ！

例年であれば、師走に入った頃には多くの樹木が落葉をし始めているのですが、今年はどうもそうではなく、師走のはじめが紅葉真っ盛りの硯石池となりました。

◆ 昨年冬には、硯石池周辺の雑木林について、「硯石の自然を愛する会」と土地所有者とで、里山整備活動に関する覚書を取り交わし、少しずつではありますが、樹木を間伐し、明るい森づくりを進めました。

整備直後は伐採した樹木が騒がしい光景でしたが、1年が経過し、徐々に枝葉が土に還るための準備を始めると、落ち着いた雑木林の姿へと変化しはじめました。特に紅葉の季節にはその素晴らしい変化を実感することができます。



遅い秋を迎える硯石池



林内も落ち着きが出てきて  
明るい森に生まれ変わりつつあります



昨年整備した雑木林が  
素晴らしい紅葉を迎えています







このような整備活動の成果を実感しながら、秋の里山活動を行いました。また、今年度から新たに活動をステップアップさせる取り組みにも挑戦しています。それは、荒地化した水田跡地の「**湿地の復元活動**」です。これまでの活動で湿地周辺の環境は確実に改善されてきました。しかし、湿地部分については、畦が崩れたり、雑草が茂るなどの荒地化が進んでいました。そのような状況を改善するために、湿地部分の泥あげ・畦づくりをはじめとした復元活動は大きな一歩だと思えます。

いつも行っている除草活動に加えて、徐々にではありますが、荒地化している水田跡地の畦づくりなどを行いながら、湿地環境の復元にも取り組んでいきます。

### ○保全活動の地域への広がり

また、もう一つの大きな一歩として、硯石池での環境保全活動が、徐々に地域住民の楽しみも交えた活動へと発展してきました。また、注目すべきは、地元の自治会連合会や青少年育成市民会議の理解も得ながらの活動へと展開している点にあります。

環境保全活動は一過性の活動であれば、その目的は達成できないでしょう。しかし、そうならないために、**保全活動を生活の楽しみとして行う仕組みを盛り込み、そこから地域住民への広がりが出てくることで、次世代に繋げる大きな力に変わっていく**ことでしょう。

### ○おわりに

地域に残された自然を愛する人たちの個人的な活動から、地域活動へと拡大するためには、そこにある**自然の大切さ・素晴らしさが地域住民と共有化されることが重要**です。そのきっかけは地域によって色々な切り口があるのではないかと思います。皆さんの地域ではどのような切り口があるのか、今一度振り返ってみてはいかがでしょうか。



活動終了後には、達目洞で作ったもち米、大洞で作った米をブレンドしてつくった五平餅を食べました。また、この保全活動を、地域全体で盛り上げていくための関係者の理解も徐々に得られているようです。

### 岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html